

公益財団法人ポエック里海財団

令和元年度 事業報告書

(令和2年12月1日から令和3年11月30日)

当財団は、ポエック株式会社が CSR の一環として平成 20 年から取り組んでいる小佐木島の再生プロジェクト事業（小鷺島バイオアイル計画）を発端とし、広く瀬戸内海の里海の再生及び保護を目指し、不特定多数の者の利益の増進を目的としたものを実施する事業体として、前身である一般財団法人ポエック里海財団が平成 23 年 12 月に設立した。

当財団は、「持続可能な経済の実現にむけて、私たちが育む自然環境、歴史、文化の保護に貢献するとともに、広く一般に瀬戸内海の里海文化への理解と関心を芸術的観点から醸成し、環境再生の研究への助成と人材育成を行うことで社会に貢献する」ことを目的に掲げている。

以下、令和元年度に実現した実施事業の概要について報告する。

財団の中心となる事業は、「離島再生事業（小鷺島バイオアイル計画）」、「里海環境を保護する人材育成事業」、「情報公開・普及事業」であり、当財団令和 2 年度期の活動実績としては、下記のとおりである。

1. 植樹活動、清掃活動

令和 3 年 4 月 10 日（土）にボランティア活動として、総勢 94 名で桜街道再生植樹、清掃ボランティア活動を実施した。

本活動は、限界集落化した小佐木島において、古民家・耕作放棄地の再生及び島外からの桜並木再生植樹・清掃ボランティア、里海文化に触れる島内ウォーキングを通して、里海文化の振興活動を実施することにより、島外からの人の誘致及び島民との交流による地域活性化を目指すことを目的としている。

本年度の植樹祭は新型コロナウイルス感染症の状況を加味し、マスクの着用、検温の実施等、体調管理を徹底した上で実施。例年財団のホームページで参加者の公募を行っていたが、本年は公募の実施をせず、当日は桜の苗 25 本、杏子の苗 5 本を植樹した。

小佐木島をより美しく、また多くの方に知っていただけるよう、植樹活動は、今後も継続しておこなっていく方針である。

2. 古民家改修

アートギャラリーとして管理している古民家 BH 2、BH 1 の一部改修工事を実施した。財団の活動の中心地となる施設のため、広く多くの方が訪れられるよう今後も継続管理していく方針である。

3. 財団設立 10 周年史の製作

財団設立 10 周年を記念して、これまでの活動を記録として残すため、10 周年史の製作を開始した。現在製作中で完成は次年度の予定となっている。これまでの小佐木島での活動と今後の展開を記し、小佐木島をより多くの方に知っていただけるよう、書籍として残す予定である。